

## 県の取組について

(主な取組)

### ○未病バレー「ビオトピア」のオープン

県西地域が「未病の戦略的エリア」であることをアピールする拠点として、未病バレー「ビオトピア」(運営主体:株式会社ブルックスホールディングス)がオープン。県運営の体験型施設「me-byoエクスプラザ」も開設。(ともにH30.4オープン)



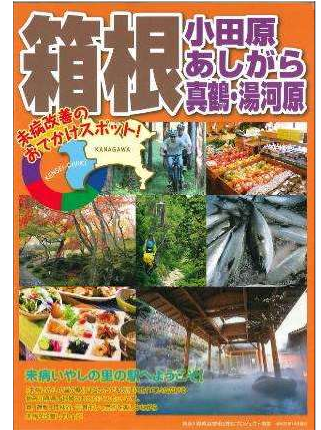
未病バレー「ビオトピア」



me-byoエクスプラザ

### ○「未病いやしの里の駅」の登録・発信

県西地域で気軽に未病の改善体験ができる施設を「未病いやしの里の駅」としてパンフレットやweb等で発信。イベント等の各種企画でも同施設と連携した取組を実施。(登録数:213施設)



紹介パンフレット

### ○イベントによる未病改善の普及促進と誘客促進

未病バレー「ビオトピア」でのイベント主催や、県西地域の各種イベントへの出展により、未病改善の普及促進とともに県西地域への誘客を促進。(H28:主催1、出展19、H29:主催0、出展19、H30:主催1、出展20、R1:主催2(台風やコロナウイルス対応で中止)、出展17)



ME-BYOフェスタ2018  
(会場:未病バレー「ビオトピア」)

### ○大学による地域連携事業への支援

大学の知見と若者(学生)の視点を活かした、県西地域と連携する未病改善事業を支援。(H28:3事業、H29:6事業、H30:4事業、R1:5事業)



東京農大の学生と地域住民が  
発酵を活かした特産物を試行

## ○農産物を活用した未病改善商品の開発推進

湘南ゴールドや茶実の「未病改善」につながる効果・効能の検証を行うとともに、これらの農産物を活用した商品を開発。



ティーオイルの販売告知

## ○未病資源を活用する民間事業への補助

民間企業等による県西地域の資源を活用した商品開発等へ補助を行い、県西地域の新たな魅力となるよう促進。  
(H29:4事業、H30:3事業、R1:2事業)

## ○複数の未病改善拠点と連携した誘客促進

未病バレー「ビオトピア」や「未病いやしの里の駅」等、県西地域の未病改善拠点を複数回遊する企画を実施し、誘客を促進。  
(H29:6企画、H30:3企画、R1:3企画)



グルメセレクション



湯めぐりチケット

## ○県西未病観光コンシェルジュの育成

県西地域で接客に関わる方々が、地域資源や未病改善を来訪された方へ紹介・提案できるようセミナーを開催。  
(修了者数 H27:456名、H28:229名、H29:252名、H30:232名、R1:201名)



セミナーを開催

## ○自転車を活用した未病改善の促進

コミュニティサイクルの設置場所(サイクルポート)を県西地域内に複数設置し、また、自転車での来訪者をサポートする施設を「自転車の駅」とするなど、自転車による県西地域の回遊を促進。  
(サイクルポート:13か所、自転車の駅:55か所)



電動アシストのコミュニティサイクル



サイクリングマップ



## ○地域交通ネットワークの形成に向けた整備の推進

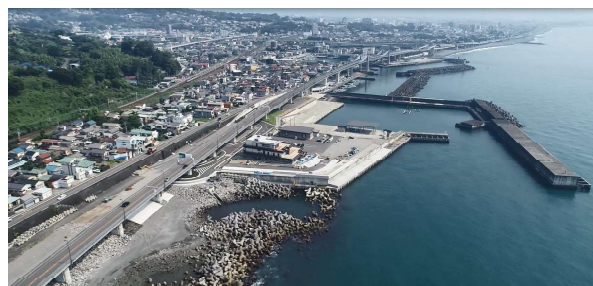
県道731号(矢倉沢仙石原)[南足柄市と箱根町を連絡する道路]及び広域農道小田原湯河原線等の整備を進め、地域交通ネットワークの形成を推進。  
(南足柄市と箱根町を連絡する道路: 今年の台風19号による法面崩落等の影響により、工程を精査中。広域農道小田原湯河原線: 令和6年度完成予定)



南足柄市と箱根町を  
連絡する道路の整備

## ○小田原漁港等の整備

小田原漁港における西側エリア及び海岸保全施設の施設整備等、水産業の振興や防災機能の向上を推進。



小田原漁港の整備

## (評価)

- 「未病」に関する情報発信や、交通ネットワークの整備など、プロジェクトに位置付けられた個々の取組が進んでおり、目に見える成果も上がっている。
- 今後は、プロジェクトの取組みの成果を生かしながら、拠点間の連携や回遊性の向上などにより、地域の魅力をつなげ、地域経済の活性化に結び付けていく必要がある。